

ぐるり30

～自治調査会だより～

2023

7

NO. 118

[発行日]
2023.7.1



青ヶ島をぐるっと囲む外輪山稜線の最高峰(標高423m)からの景色

【写真提供】青ヶ島村【撮影場所】大凸部（おおとんぶ）

Contents 7月の内容

- ▶ 多摩東京移管130周年記念
フォトコンテスト「#おしたま」開催中！ …… 2
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト
市町村の取組紹介～ …… 4
 - 小平市 小平市地域エネルギービジョン推進事業
 - 日野市 省エネチャレンジ事業
 - 利島村 公共緑地保全事業
- ▶ 東京愛らんどフェア
「島じまん2023」が開催されました …… 6
- ▶ わたげ探偵！！こんなの調べてみました！
～島に行ってみよう 神津島～ …… 7
- ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～青ヶ島村～ …… 8



◀ 多摩東京移管130周年記念ロゴマーク
当調査会は多摩東京移管130周年記念事業を展開していきます。

公益財団法人

東京市町村自治調査会

多摩東京移管130周年記念 フォトコンテスト「#おしたま」開催中!

多摩東京移管 130周年記念



フォトコンテスト

開催します!

#おしたま

テーマ

私が見つけた、おしたま+

『推しの多摩』

プラス

東京の島しょ地域での
写真も募集してるよ!

| 募集期間 | 2023 7/31 まで

受賞者には

多摩30市町村の

名産品

プレゼント!

何が入っているかは
お楽しみ!

応募方法

Instagram

「#おしたま」

で投稿!



WEBサイト

から応募!

<https://tama130th.tokyo>

郵送で応募!

〒190-0023
東京都立川市柴崎町 3-9-2
コトリンク 3F
「#おしたま」フォトコンテスト事務局

■応募作品：写真は1投稿あたり1～3枚を投稿ください。

※WEBサイト、郵送の場合は1応募につき1～3枚

■応募資格：どなたでもご応募いただけます。多摩・島しょ地域在住でなくても構いません。学校や企業など団体も応募可能です。

■入賞発表：2023年8月中旬に本ホームページで発表いたします。受賞者にはInstagramのメッセージでご連絡いたします。

※ただし、WEBサイト、郵送で応募の場合はメールでご連絡いたします。

詳細はWEBサイトをチェック!

主催：公益財団法人 東京市町村自治調査会

運営：©#おしたまフォトコンテスト事務局（けやき出版）〒190-0023 東京都立川市柴崎町 3-9-2コトリンク 3F / 042-525-9909



2023 年は、 多摩地域が神奈川から東京に移管されて 130周年になります。

記念ロゴが決定！



≡ 応募規約 ≡

(1) 応募作品

- ・応募作品は、応募者本人が撮影・執筆したものに限り、ただし、未就学児が撮影した写真の場合、保護者のコメントや執筆などでも可能。
- ・応募作品は必ず、撮影日、撮影場所（市町村名）、エピソードなどのコメントを記載してください。
- ・写真は多摩・島しょ地域で撮影されたもので、応募時より約5年前までに撮影されたものに限り、
- ・応募期間中であれば何度でも応募可能です。ただし、受賞は一人様1作品となります。
- ・他団体主催のフォトコンテストへの応募作品でないものに限り、
- ・合成や変形など、事実を改変する加工が施された応募作品は審査対象外となります。
- ・Instagramで応募の場合、応募者のSNSアカウントが非公開設定では投稿を確認することができないため、公開設定の上で応募ください。
- ・Instagramで応募の場合、多摩130周年の公式Instagramアカウントのフォローがないアカウントは審査対象外となります。
- ・Instagramで応募の場合、ハッシュタグ「#おしたま」のない応募作品は審査対象外となります。
- ・Instagram、WEBサイトで応募の場合、画像のデータ形式は問いません（jpg/png/psd/tif/heicなど）。
- ・応募作品は、第三者の著作権、肖像権、その他法令上の一切の権利や第三者の名誉、プライバシー等を侵害していないものに限り、応募作品に人物が写っている場合は、必ず使用許諾を得てから応募してください。
- ・次の内容に該当する又は該当するおそれのある応募作品は審査対象外となります。
 1. 法令等に違反するもの
 2. 暴力的・差別的・卑猥な表現を含む又は犯罪を助長するなど公序良俗に反するもの
 3. 個人・団体など他者の名誉を毀損する又はプライバシーを侵害するもの
 4. 第三者の著作権、商標権、肖像権、その他知的財産権を侵害するもの
 5. 企業や商品などの宣伝若しくは政治・宗教等特定のイデオロギーの宣伝又は勧誘を意図するもの
 6. その他本コンテストの趣旨に照らしてふさわしくない表現を含むもの
- ・応募作品に関して第三者との間で問題が生じた場合、すべて応募者の責任において対処し、© #おしたまフォトコンテスト事務局及び公益財団法人東京市町村自治調査会は一切責任を負いません。

(2) 作品の利用

- ・応募作品は公益財団法人東京市町村自治調査会などの広報物やイベントなどで使用させていただく場合があります。
- ・応募作品の利用にあたり、応募作品の一部を加工することがあります。
- ・パネル展示を行うため、写真データは20MB以上を推奨します。容量の低い画像の場合、パネル印刷時に画像が粗くなる可能性があります。

(3) 入賞の連絡

- ・入賞の連絡後、指定期限までに連絡先、賞品の届け先などの必要事項を指定の方法でご連絡ください。指定期限内にご連絡がない場合は入賞無効となります。
- ・審査結果等に関するお問合せにはお答えしかねますのでご了承ください。

(4) 賞品の発送

- ・賞品の発送は、日本国内に限ります。
- ・住所の不備、連絡不能などの理由により賞品をお届けできない場合は、賞品を受け取る権利が無効となります。

(5) 情報の取扱い

- ・応募者のお名前・ご住所などの個人情報は、本コンテストの運営に必要な範囲内で使用し、他の目的には使用しません。

(6) その他

- ・本コンテストはInstagramが関与するものではありません。
- ・応募にかかる通信料等の費用は、応募者のご負担となります。
- ・応募作品は返却いたしません。
- ・応募作品について虚偽や違反などがあつた場合は、入賞作品の発表後でも入賞を取り消し、賞品の返還を求めるものとします。
- ・本コンテストの内容は、予告なく変更・終了する場合があります。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。



シーナ

かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

1 小平市

小平市地域エネルギービジョン推進事業



小平市では二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、Web・アプリ版環境家計簿の利用等を促すイベントを開催し、緑のカーテンの役割や育て方について学び、緑のカーテン用の苗を配布するイベントを実施しました。「柳育種花園」園主の柳 宗久さんから緑のカーテンの育て方を中心に必要な知識やノウハウについてお話しいただき、ゴーヤ、きゅうりの苗を配付しました。

緑のカーテン講習会の内容については、動画を公開しています。



【問合せ先】小平市 環境政策課 TEL 042-346-9818



「緑のカーテン講習会」動画
はこちら

2 日野市

省エネチャレンジ事業



日野市では2008年度より「ふだん着でCO₂をへらそう実行委員会」を立ち上げ、CO₂の削減を啓発しています。新型コロナウイルス感染症により活動に大きな制約を受けていたなか、コロナ禍でも環境学習を行うことができるよう紙芝居・動画を作成しました。

2023年度は、幼稚園や保育園等の子ども関連施設で、今までに作成した紙芝居の読み聞かせや動画の上映を行い、環境学習に役立てる予定です。

また、日野市環境フェアなど環境啓発イベントにて、市民の皆さんへ紙芝居・動画による啓発を行う予定です。



【問合せ先】日野市 環境保全課 TEL 042-514-8294

③ 利島村 公共緑地保全事業



利島村では冬季の強風や塩害による樹木の倒木や腐食が多く見られるため、公共緑地保全事業を実施しています。定期的なメンテナンスをすることにより、被害を最小限にとどめることができます。

この事業により、公共の緑地である「^{はしけ}船と海の歴史広場」「南ヶ山園地」に植樹した樹木の剪定・管理を行い、保全しています。

なお、樹木の剪定や管理については専門的な技術を要するため、専門の業者に委託し、樹木の適正な育成・管理を図っています。



【問合せ先】利島村 環境建設課 TEL 04992-9-0014

サマージャンボ

7

億円

1等前後賞合わせて7億円
1等5億円、前後賞各1億円

サマージャンボ

3

千万円

当せんの
チャンス
広がる!

1等前後賞合わせて3,000万円
1等2,000万円、前後賞各500万円

この宝くじの収益金は、

区市町村の明るく住みよい

まちづくりに使われます。

PCやスマホで
ネット購入!

宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

7月4日(火)同時発売

発売期間/7月4日(火)~8月4日(金) 抽せん日/8月18日(金)

各1枚
300円

2023年区市町村振興宝くじ

公益財団法人 東京都区市町村振興協会

東京愛らんどフェアが 開催されました

「探そう！東京の“感島体験”^{かんどう}」と銘打った「東京愛らんどフェア『島じまん2023』」が、5月13日（土）・14日（日）の2日間、港区にある竹芝桟橋・竹芝客船ターミナル及び東京ポートシティ竹芝で開催されました。

「島じまん」とは、東京の島々の特産品の販売や特設ステージでの郷土芸能の披露など企画が盛りだくさんの伊豆諸島・小笠原諸島の魅力発信イベントです。2年に一度開催されていましたが、コロナの影響により、今回は5年ぶりの開催となりました。



▲特産品販売ブースの様子

会場に設けられたブースでは、島の食材を使用したご当地料理の提供や特産品の展示・販売が行われ、これらを求める多くの人々の行列ができていました。メダイ、マカジキ、岩のりをネタにした八丈島の島寿司は、開会前から長蛇の列ができるほどの人気ぶりで、その場で舌鼓を打つ来場者が多く見られました。

さらに、多摩地域の特産品や東日本大震災の復興応援として福島県の特産品の販売等もあり、こちらも大人気でした。

会場内に設置された特設ステージでは、2日間途切れることなく、各島の伝統的な踊りなどの郷土芸能が披露され、式根島出身アーティスト宮川愛季さんのスペシャルライブ、お笑いコンビ「ココリコ」の遠藤章造さんをMCに、9町村の島民代表を迎えたスペシャルライブ「島トーク」などが開催されました。

郷土芸能の披露では、太鼓のリズムや演舞者のパフォーマンスなどでステージと観客が一体と



なって盛り上がり、二つのスペシャルライブでは多くの観客を楽しませていました。

他にも、大島の椿の花びら染め体験、新島・式根島の貝殻アクセサリー制作体験、三宅島のボルダリング体験や三宅島をドローンから撮影した映像が楽しめるVR体験コーナー、八丈島の黄八丈織物体験・小物作りや八丈島の植物を使ったハワイアンレイメイキング、戦前から小笠原に伝わる固有種「タコノキ」の葉を使用した伝統工芸品など、様々な体験イベントもあり、参加した来場者は熱心に取り組んでいました。



▲特設ステージでの郷土芸能の披露

当日はあいにくの雨でしたが、2日間で延べ10万人を超える方々が来場し、大盛況の中で幕を閉じました。

皆さんは、東京島しょ地域には9町村あり、一般住民が住む有人島は、11島あることをご存じでしょうか。東京から各島へのアクセスは、竹芝桟橋発の船便や調布飛行場からの航空便（一部の島にはなし）などがあります。

それぞれの個性豊かな島の魅力を発見する素敵な旅に、あなたも出かけてみませんか。



わたげ探偵!! こんなの調べてみました!

～ 島に行ってみよう 神津島 ～

◎不定期掲載

多摩・島しょ地域には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ!
今回は **神津島を旅してみたよ**♪どんなスポットがあるかな?

◆神津島へのアクセス

《航路》竹芝栈橋から・高速ジェット船で約3時間45分
・大型客船で約12時間
《空路》調布飛行場から約45分



前浜海岸



白い砂浜が広がる前浜海岸。ここは島の中心地から近く、アクセスが抜群なんだ。昼間だけでなく、夕方には美しい夕日も楽しめるよ。

2013年の国民体育大会ではビーチバレーの会場にもなったんだよ。



今もビーチバレーコートがあるよ!



えんま洞

「神が集いし島」と言われる神津島には多くの史跡が残っているよ。

ここ“えんま洞”では、にっこりと微笑むえんま様が祀られているよ。



横道展望地



神津島村郷土資料館



神津島の歴史を詳しく知りたい時は、神津島村郷土資料館に行ってみよう!



ここからは、前浜海岸を眺めることができるよ。他にも、ありま展望台や三浦湾展望台など、神津島には多くの展望台があるんだ。きれいな景色を眺めてリラックスができるね。

◆最新情報は各ホームページなどでご確認ください。



とっておき歴史発見

第28回 青ヶ島村



身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『還住の碑』と『ひんぎゃの蒸気』を紹介するよ。

かん じゅう 還 住 の 碑



1785(天明5)年頃、大規模な噴火による全島民避難で、青ヶ島は無人島になってしまったんだ。多くの苦難を乗り越え、約50年後、当時の名主であった佐々木次郎太夫によって、生き残ったすべての島民が島へ帰還することができたんだよ。その歴史を「還住」と呼び、この還住の碑は、島民を導いた名主の想いを表した像なんだ。



ひんぎゃの蒸気



島言葉で「ひんぎゃ」と呼ばれる地熱蒸気の噴気孔群が見られるよ。硫黄の成分がほとんどないめずらしい蒸気だから、昔から調理に使ったり、体を温めたり、身近な存在なんだ。外輪山の内側にある池之沢地区では、誰でも使える地熱調理窯やサウナ施設、製塩手法として活用されていて、電気やガスが普及した今でも大切に使われているよ。

【現地案内】

〈青ヶ島へのアクセス〉

青ヶ島へは、都心からの直行便がないため、八丈島経由となります。

〈航路〉

竹芝桟橋から八丈島まで、「大型客船」(東海汽船)で約10時間20分

八丈島から青ヶ島まで、「くろしお丸」(伊豆諸島開発)で約3時間

〈空路〉

羽田空港から八丈島空港まで、飛行機(ANA)で約55分
八丈島から青ヶ島まで、ヘリコプター(東京愛らんどシャトル)で約20分

【情報・写真提供】 青ヶ島村総務課 04996-9-0111 (代表)



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

【発行日】2023年7月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています